

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
計画全般に関するもの				
1	市がいろいろと考えてくださることに感謝している。	本計画では、本市の文化芸術を振興するために、「施策1 市民の文化芸術活動の促進」「施策2 市民が文化芸術活動に接する機会の拡大」など、7つの主要施策に取り組むこととしています。特に、文学や音楽・合唱、漫画・映画など本市の特長である文化芸術への取組みをさらに強化するとともに、子どもたちが優れた文化芸術を体験する機会を増やし、次代の担い手を育成する取組みも充実していきたいと考えています。今後は、この文化振興計画（改訂版）を着実に進めることで、市民が郷土を理解し、その愛着心を育む、シビックプライドの醸成に努めていきます。	1	1
2	改訂内容については、特に文句をつけるようなところは見当たらない。		1	1
3	具体的で、よりきめの細かい施策となっている。		1	1
4	産業誘致、雇用対策、福祉施策などにも引き続き取り組んでいただき、この計画で謳われている「文化芸術の街」「文学の街」「合唱の街」「映画の街」が実現し、「北九州市に住んでいて良かった」と思える故郷北九州市になってほしい。	基本理念に定める「市民が芸術文化を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」の実現を目指し、本計画を着実に進めていきます。また、本市の誇るべき歴史や伝統、文化を次代を担う子どもたちに引き継ぐとともに、文化芸術をまちづくりに生かすことで、本市の魅力の向上に努めます。	1	1
5	改訂の趣旨、計画の概要は、全国的に高齢化社会を迎えるにあたって、北九州市が次世代へつないでいく指針として納得できる。	本計画の改訂にあたっては、少子高齢化などの社会的背景やユネスコ世界文化遺産への登録など本市の特色、市民の文化芸術に関する現状や意識を踏まえ、専門家等で構成する文化振興計画改訂検討会で議論を重ねました。計画では、「北九州らしさや特長をさらに強化し、シビックプライドの醸成を図る」など4つの戦略を立て、文化芸術の振興に努めることとしています。	1	1
6	視点として「文化芸術」という精神的・心の糧となる方針は、物ではなく誰もが共有できる大切な柱であると考えている。	文化芸術を「人間が理想を実現していくための精神活動」という視点でとらえれば、その振興の意義の一つは、他者と共感し合う心を通じて、人間相互の理解を促進するものであると言えます（「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）」より抜粋）。本計画においても、文化芸術の振興を通じて、人との違いや個性を認め合い、他者への理解を進め、誰もが生きがいや潤いを感じるまちを創ることを目指しています。	1	1
7	文化振興計画を知らない市民が多い。現在の北九州市は、この計画のもと、文化振興が進んでいることは、計画を知らない人でもきっと感じていると思う。私もその一人。	本計画の推進にあたっては、市が市民、文化団体、企業等と連携して「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」を実現する取組みを総合的、継続的に推進することが求められます。そのため、市民の皆さま一人ひとりに、本計画を理解していただけるよう、市政だよりや市のホームページの活用、地域に向向いて意見交換を行う「出前公演」を実施するなど、様々な機会を通じて、計画内容の広報・啓発を行っていききたいと考えています。	1	1
8	民間活動との協力体制づくりが必要である。「カルチャーセンターの文化講座、市民センター等の自主活動等の邪魔となるような文化事業はせずに、各々の講座や自主活動を支援する」の立場を尊重したらどうか。	文化芸術の振興を図るためには、市民が主体となって文化芸術活動に参加することはもとより、文化団体や企業等と協力しながら進めていくことが重要だと考えています。当然、民間の自主活動は尊重しながら、関係者が連携・協力し合う関係づくりに取り組み、市民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりに努めていききたいと考えています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
9	この街にしかない文化を大切にしたい。	本市はどこの都市にも負けない、多様で優れた多くの文化資源を保有しています。文学の分野では、火野葦平や松本清張など著名な作家を輩出しています。メディア芸術の分野では、松本零士やわたせせいぞうなど個性が光る漫画家を輩出しています。また、地域で受け継がれている祭などの伝統文化や文化財も数多くあります。今後も、本市の貴重な財産をPR・顕彰し、発信していきます。	2	1
10	地元で根付いた文化事業を推進していただきたい。	本市では、文化連盟など市民を中心とした文化芸術活動が活発に行われています。また、企業などでもクラブ活動が行われています。これらの自主的な活動を尊重し、支えながら、幅広い層の市民が参加する、生活に根ざした文化芸術の振興に努めていきます。	2	1
11	「文化活動、芸術活動」をされている方の中で、この計画のことをどれくらいの方が認識したうえで、活動されているのか。	本計画の改訂にあたっては、市民3,000人に対し「文化芸術に関する市民意識調査」を実施し、本市における文化芸術の現状や意識を把握しました。また、「文化芸術振興計画改訂検討会」では、専門家だけではなく、地域で文化芸術活動に携わっている方も加わり、多くの議論を重ねています。本市の文化芸術を支える主役は市民であり、これからも市民の皆様のご意見を踏まえながら、文化芸術の振興に努めていきたいと考えています。	2	3
12	文化振興計画を知らない。合唱・芝居・踊りなど文化芸術に関わりのない市民が参加してくれるようになって、初めて「文化振興」ではないか。現在の市の活動は、声援は送るから、あとは各々頑張って広めてくださいという感じ。具体的にどうすれば文化芸術の認知度が上がるのか、アイデアを公募するののも一つの方法かもしれない。	本計画の推進にあたっては、市が市民、文化団体、企業等と連携して「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」を実現する取組みを総合的、継続的に推進することが求められます。そのため、市民の皆さま一人ひとりに、本計画を理解していただけるよう、市政だよりや市のホームページの活用、地域に出向いて意見交換を行う「出前公演」を実施するなど、様々な機会を通じて、計画内容の広報・啓発を行っていききたいと考えています。	2	3
13	施策3の「発信力の高い文化芸術の振興」の取組みの方針の見出しのうち、“(2)「文学の街」への施策の推進”と“(4)漫画や「映画の街」への施策の実施・支援”で使用されている“への”の意味がわかりにくい。また、総論をもう少しわかりやすくしてほしい。	ご意見を踏まえ、語句の使用について修正します。	3	2
14	3ページ・6行目にある「・・・要素のひとつとして・・・」と、4ページ・16行目にある「・・・工業地帯の一つとして・・・」など、語句の使用が統一されていない箇所があります。その他、送り仮名なども不統一の箇所があり、修正すべきではないでしょうか。		3	2
計画の理念・戦略に関するもの				
15	文化というものは、衣食住足りて次にくるものではないかと思う。北九州市はこれまで、「環境・国際協力」「子育て」と掲げてきたが、いよいよ文化施策に力をいれたいと感じた。	基本理念に定める「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」の実現を目指し、本計画を着実に進めていきます。また、本市の誇るべき歴史や伝統、文化を次代を担う子どもたちに引き継ぐとともに、文化芸術をまちづくりに生かすことで、本市の魅力の向上に努めます。	1	1
16	「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」という考えが素晴らしい。北九州市の理想とするもの。	「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」は、文化振興計画の基本理念であり、この理念の実現に向けて、市民や専門家、関係団体などと協力しながら、計画に記載した様々な施策に取り組んでいきます。	1	1
17	基本理念「市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち」に賛同する。		1	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
18	市民の文化活動を促すのであれば、活動への助成も含めた支援は重要だと考えます。より充実していただくようお願いいたします。	市民の行う文化芸術活動に対し、今後も必要に応じて助成を続けていきますが、事業の公共性や目的によっては助成に頼らない自立した事業として行われることも考えられます。補助金等のあり方については、有効に活用できるように「選択と集中」の観点を十分に考慮して進めていきます。どうぞご理解ください。	2	1
19	市民は北九州市は「文化不毛の街」といった劣等感を抱いている方が多いのではないかと。今はかなり改善されているとは思いますが、更に一層の改善努力をして欲しいと思う。例えば、熊本市の水前寺公園や福岡市の大濠公園のような立派な市のシンボルとなるような公園を作ったり（本市は九州の玄関口である特性を生かし「九州庭園」-玄界灘や雲仙、阿蘇、霧島、桜島などを模した山などを配置した公園-池泉回遊式のイメージ）することで市民に誇りを持たせることなど如何か。	本計画の中でも「文学の街」「合唱の街」「映画の街」と称し、様々な事業を展開することで、市民に対して文化芸術の街に対する意識付けを行っているところであります。また、小倉城庭園では、「和」の精神に基づく日本の礼法を、時代の変遷に合わせて紹介しています。今後も、国内外からの来訪者を迎え入れ、本市の歴史、文化に触れ、味わっていただくために、小倉城周辺の魅力を向上し、和の文化の発信、伝統の継承に努め、シビックプライドの醸成につなげていきます。	2	3
施策1 市民の文化芸術活動の促進に関するもの				
20	芸能人等のコンサート活動、劇団公演等支援のため、会場予約等の優先権的な制度整備を行う。	市立の市民会館や文化ホールを利用するには、公平性を確保するため、一定のルールがあります。その上で、より利用しやすい施設となるために、利用者の活動状況で異なるさまざまなニーズを踏まえ、サービスや公演内容等について、柔軟で弾力的な運営に努めます。	2	1
21	今現在、実際に活動をされている方の中で、後進の育成がなされている団体がどれくらいあるのか。それぞれの団体が将来のことをもっと考えて、継続、継承していくことが、この文化振興計画のすべてに繋がっていくのではないかと。	文化芸術を振興する上で、担い手不足が生じていることは、重大な課題だと考えています。本計画では、「施策4 文化芸術の担い手の育成」において、さまざまな施策・事業を掲載しています。これらを着実に進めることで、本市の誇るべき文化芸術の保存・継承、発展に努めていきます。	2	1
22	春は北九州文化連盟が企画推進する芸術祭、秋は区の文化連盟が企画推進する文化祭について、PRを市政だより等に大きく掲載する。	市民が文化芸術に触れる機会を増やすためには、市内で行われている文化芸術活動を、市民に分かりやすく伝えることが重要です。そこで、市が実施する文化事業だけでなく、できるだけ幅広い文化芸術にかかわる情報を収集し、広報誌やホームページなどさまざまな広報媒体を活用し、効果的な情報発信に努めていきます。	2	1
23	区の文化祭については、七区の連合会が主催する開会式・式典を検討する。	本市には、北九州文化連盟や各区文化連盟など、地域別、ジャンル別に数多くの文化団体があり、そこでは市民が主体となり、盛んに文化芸術活動が行われています。この活動をさらに活性化できれば、子どもから高齢者、働く世代や子育て世代など幅広い世代が、それぞれのライフステージに応じ、好きな文化芸術活動に参加する機会が広がります。そのためには、効果的な創作活動等の支援に加え、文化団体やNPO、企業、行政が連携していくことが重要だと考えます。	2	1
24	七区の文化祭の内容が分かる一覧表（配付用）を作製する。		2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
25	横のつながりを広げていくようなイベントや企画があれば、より市民にアピールできるのではないかと。文学・音楽などすべてにつながりを持たせて総合的に持ち上げる。	現在でも、映画と文学、映画と音楽など幅広いコラボレーションによる創造的な活動が活発に行われています。その活動が新たな付加価値の創出や地域社会の活性化との原動力となっています。今後も、引き続き、コラボレーションによる新たな魅力を引き出していきます。	2	1
26	平尾台、響灘緑地等々を活用し、1万人台のコンサート会場を提供する。	事例のひとつである平尾台の一部は、国の天然記念物に指定されており、将来にわたり保護すべき貴重な自然です。一方で、平尾台自然観察センターや平尾台自然の郷を設置し、市民に平尾台の希少性を理解していただくとともに、体験し、楽しむ機会づくりも取り組んでいます。1万人台のコンサート会場の設置は困難ですが、このように平尾台の保護と活用を、バランスをとりながら進め、次の世代に貴重な自然を引き継いでいきたいと考えています。大規模イベントの会場については、文化芸術の振興やにぎわいづくりのため、関係部局と協議していきたいと考えています。	2	3
27	八幡東区の市民図書館・市民会館について、ひとつの地で村野藤吾の作品を見られる場所は日本中でここしかない。財源について、捻出すべきである。建築業界、考古学界から注目を集めている。	八幡市民会館の取扱いについては、村野藤吾氏が設計した建物であることを考慮しつつも、様々な市民の意見や公共施設マネジメントの総量抑制の考え方などを総合的に判断し、機能廃止を決定したものであります。八幡市民会館の建物の取扱いについては、市民、企業、大学、まちづくり団体等によって構成される八幡市民会館リボン委員会が検討していると伺っています。この建物の取扱いについてはリボン委員会からの提案も参考にしながら、最終的な建物の取扱いを決めたいと考えています。どうぞご理解ください。	2	3
28	能楽愛好者にとって、レディスやはたの能楽台は貴重な施設である。レディスやはたの解体時には、北九州に一つしかない能楽台を黒崎びびしんホールに移設して欲しい。	レディスやはたについては、公共施設マネジメントに基づき、耐用年限（平成49年）までに八幡東生涯学習センターに機能を集約されることになっています。このため、八幡東生涯学習センターに集約される年限までに、どのような形で能舞台の機能を存続するか検討したいと考えています。	2	3
施策2 市民が文化芸術に接する機会の拡大に関するもの				
29	9月から11月までの秋期3か月を、本市版の「文化芸術振興月間」として、各施設で限定企画、無料開放などのイベントを開催して、市民が文化芸術に接する機会が増えるようにしたい。	市民が文化芸術活動に参加されている各文化連盟は、4月と9月の1か月間を芸術祭や文化祭と銘打ち、数多くの展示会や発表会などを開催されています。自然史・歴史博物館や美術館などの文化施設では、夏休みなどその時期の特徴を踏まえながら特別企画展を開催しています。また、5月18日の「国際博物館の日」にちなんで、各文化施設が連携し実施しているミュージアムウィーク（市内の文化芸術施設等が連携し、スタンプラリー等を活用しながらPRを行う。）も、時期を踏まえた取組みの一環です。今後も、このような取り組みを進めるとともに、日ごろから市民の皆様が文化芸術に触れる機会の拡大に努めていきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
30	各文化施設がコラボした企画展や催し物が増えれば嬉しいし、より集客増加にもつながると思う。	北九州市内の文化芸術施設等（いのちのたび博物館・美術館分館・漫画ミュージアム、木屋瀬宿記念館、文学館、松本清張記念館、埋蔵文化センター、松永文庫、森鷗外旧居、小倉城庭園、小倉城、北九州芸術劇場）が連携し、スタンプラリー等を活用しながらPRを行うミュージアムウィークを実施しています。 この他にも、響ホール、北九州芸術劇場、漫画ミュージアムの3館が連携して「銀河鉄道999」をテーマにした催し物を企画するなど様々な取り組みを行なっています。 引き続き、文化資源の連携を図り、集客増加につなげていきます。	2	1
31	同じテーマのもと市内各施設で同時に事業実施するのもよいのではないか。（名古屋のトリエンナーレみたいな感じ。）	ご意見のように、イベントや施設が連携しながら、市民の皆様がさまざまなジャンルの文化芸術に触れる機会を拡大することは、文化芸術の振興を進めるうえで、大切な視点だと考えています。 これまで、ポップカルチャーフェスティバルと漫画ミュージアムに関連する企画展の開催、松永文庫と映画館の連携など、イベントや施設間の連携に取り組んでいます。また、5月18日の「国際博物館の日」にちなんで、各文化施設が連携し実施しているミュージアムウィーク（市内の文化芸術施設等が連携し、スタンプラリー等を活用しながらPRを行う。）も、その取り組みの一環です。今後も市民の皆様が、ジャンルを超えた文化芸術に触れる動機づけとなるような取り組みを進めていきます。	2	1
32	北九州市には、さまざまな分野の数多くの文化イベントが実施されているが、正直、情報を入手することが難しい。もっと分かりやすい、文化イベントの情報発信をして欲しい。	文化芸術に関する情報の収集に努め、広報誌やホームページなどさまざまな広報媒体を活用しながら、効果的な情報発信に努めていきます。	2	1
33	文化企画課宛に届けられた各種行事案内を広報誌に転載して欲しい。		2	1
34	市政だよりを中心に文化情報を得ているが、もっと、文化芸術の広報・PRに力を入れて欲しい。		2	1
35	働く世代が劇場に足を運べるような企画をお願いしたい。演目の時間が短かったり、開始時刻を少し遅くしたり工夫して欲しい。	本計画においても、働く世代や子育て世代が文化芸術活動に取り組めるような環境の整備は重要と考えており、気軽に文化芸術を体験できる機会の提供について記載しています。いただいたご意見を参考に、今後の事業の実施を検討してまいります。	2	1
36	4つの戦略も基本理念に沿って組み立てられており、是非、推進させて欲しい。「施策1市民の文化芸術活動の促進」（1）の「新」として「高齢者や子ども・・・」に熟年世代の文言がみられるが、高齢者への取組みも見える形で計画の中にあるのもよいのではないか。	子どもから若者、高齢者、障害のある人、外国人など、誰もが主体的に、優れた文化芸術に接する機会を享受できるよう、各文化施設では、音楽や演劇、舞踊、伝統芸能の舞台芸術の公演、文学や美術等の常設展・企画展など、さまざまな事業に取り組んでいます。	2	1
37	中国人観光客が日本に大勢来ている。文化施設などへ観光目的であれば、北九州へ来る人も増えるのではないか。外国人が興味を持つような企画や広報を積極的に実施して欲しい。		2	1
38	外国人が文化施設に来てわかるように、外国語が話せる人を配置したり、外国語の表記を行うなど、外国人が施設に来ても苦にならず、楽しめるような取り組みを行って欲しい。		2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
39	小さい子どもがいる母親たちが、日中、気分転換がてらに見に行ける催しがあるとよい。	働く世代や子育て世代が、主体的に文化芸術活動に取り組む契機となるよう、気軽に体験できる機会を提供します。	2	1
施策3 発信力の高い文化芸術の振興に関するもの				
40	施策3発信力の高い文化芸術の振興（2）文学の街への施策推進において、市にゆかりのある偉人先人の功績を紹介することは市の持つ資産を活かすものとして積極的に行うべきだと考える。	本市はどこの都市にも負けない、多様で優れた多くの文化資源を保有しています。文学の分野では、火野葦平や松本清張など著名な作家を輩出しています。メディア芸術の分野では、松本零士やわたせせいぞうなど個性が光る漫画家を輩出しています。今後も、本市の貴重な財産をPR・顕彰し、発信していきます。	1	1
41	フィルムコミッションの実績は高く評価できる。でも「文化」というと疑問がある。	「東京ドラマアワード2014特別賞」や「福岡県文化賞・社会部門」を受賞するなど全国的に高く評価されている北九州フィルム・コミッションは、数多くのテレビドラマや、映画撮影のロケ誘致に成功しています。これらの活動により、都市イメージの向上や撮影隊がもたらす経済的な波及効果だけでなく、国内外からの観光客も見込めます。さらに、「映画の街・北九州」という新しい都市ブランドの確立にもつながっています。その「映画の街・北九州」の情報発信拠点として映画・芸能関係の資料を公開展示している「松永文庫」や地元映画館などと連携した取り組みなどにより、映画文化の振興を図っていきます。	1	1
42	大人に対しても、一流の文化芸術に触れる機会の提供をこれまで以上にお願いしたい。例えば、現在、福岡市美術館で開催されている「モネ展」のような展覧会が北九州市でも開催されると良いと思う。	美術館ではこれまでも、例えば平成25年度のルーベンス展や26年度のボストン美術館所蔵北斎展などを開催してきました。現在美術館本館では、安定した温湿度管理を行うための改修や雨漏りの修繕工事を行っています。今回の工事が終われば、海外からの作品や重要文化財の展覧会が開催できる環境が整います。リニューアル後も一流の文化芸術に触れる機会の提供を行ってまいります。	2	1
43	美術館の今までの展示は、マイナーな要素が強くインパクトに欠ける感じがする。例えば年に一度でも、特別展などで誰もが知る目玉の展示物があれば、足を運ぶ人が増えると思う。	美術館では市内の小中学生に毎年有料の展覧会のうち5回まで無料観覧できる「たんけんパスポート」の配布や、市内の小学校および特別支援学校に美術鑑賞の機会を提供するため送迎バスを用意する「小学生美術鑑賞教室」を開催し、また展覧会以外にもワークショップなどを実施し、子どもたちが美術に親しむ機会作りを行っています。リニューアル後も大人から子どもまで多くの方が親しめる展覧会を含め多様な事業を企画してまいります。	2	1
44	文化芸術の入口として美術館がもっと身近なものになれば良いと思う。	美術館では市内の小中学生に毎年有料の展覧会のうち5回まで無料観覧できる「たんけんパスポート」の配布や、市内の小学校および特別支援学校に美術鑑賞の機会を提供するため送迎バスを用意する「小学生美術鑑賞教室」を開催し、また展覧会以外にもワークショップなどを実施し、子どもたちが美術に親しむ機会作りを行っています。リニューアル後も大人から子どもまで多くの方が親しめる展覧会を含め多様な事業を企画してまいります。	2	1
45	北九州市内で撮影された映画やドラマがたくさんあるので、もっとPRしてよいのではないかと。出演者の方に舞台挨拶してもらおうなど。	映画やドラマの出演者による舞台挨拶などは街のにぎわいづくりにつながるため、昨年10月には、北九州フィルム・コミッション支援作品である映画「MOZU」の主演俳優、監督による舞台挨拶付試写会や映画「図書館戦争」の出演者、原作者によるトークイベントを開催しました。今後も支援作品など映画やテレビドラマを活用し、本市の魅力を国内外に発信し、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドのさらなる確立に向けた取り組みを推進していきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
46	文学館関係施設を文学館が統括する。	市内の文学関連施設については、民間団体が運営にあっているものもあり、すべてを統括することはできませんが、資料の劣化や散逸を防止する観点から適切な保管管理体制の構築を図ります。	2	1
47	北九州市の文化を支えた「児童文学」、例えば、阿南先生、くまごろう先生の業績等を小学生に伝えていける授業を実施してもらいたい。	本計画においても、本市の優れた児童文学の作品が、多くの子どもや市民に親しまれるよう、その顕彰の方法も含め、調査・研究を進めていくこととしています。今後、事業を実施していく上での参考にさせていただきます。	2	1
48	劇団四季ミュージカルの招致について。市民の文化レベル向上のため、音楽・演劇・ダンス等の芸術を分かりやすく表現しているミュージカル（できたら劇団四季）の招致を検討してほしい。	現在、民間団体を中心に様々なミュージカル公演が、ソレイユホールや黒崎びびしんホール等の市内ホールで行われています。また、市内小学生を招待した劇団四季によるミュージカル公演も行われております。これらを踏まえ、今後とも市内文化施設において、ミュージカルを含めた多様な文化芸術に接する機会や交流の場を充実させていくこととしており、本計画にもその内容を記載しています。	2	1
49	市内で活動している子どもの音楽団体の支援（合唱団、ミュージカル団体等）。ミュージカルの指導者、ヴォイストレーナー等を派遣する制度をつくる。	豊かな心や感性・創造性を育むため、子どもたちが文化芸術活動に取り組むことは非常に重要と考えており、本計画においても、将来の文化芸術の担い手の育成として、子どもたちが優れた文化芸術に触れる機会を充実させることとしています。いただいたご意見は、今後、事業を実施していくうえでの参考とさせていただきます。	2	1
50	市内で活動している子どもの音楽団体の支援（合唱団、ミュージカル団体等）。コンクール等発表の場をつくってほしい。		2	1
51	各区の文化資源を有機的につなぎ、JR九州ウォーキングコースの提供をしてはどうか。 例 小倉駅周辺文芸 穴場コース 安国寺（芭蕉人形）、手向山公園（宮本武蔵の碑）、西連寺（白秋掛軸）、城野（清張「黒地の絵」）、富野・日明（久女旧居跡）等々、日頃訪れない「ゆかりの地」をマップにより紹介を行う。	本計画の中でも、まずは文学をキーワードに森鷗外や松本清張など小倉都心部に点在する文化資源を有機的につなぎ、まちづくりに生かす取組みを検討しています。	2	1
52	自分史文学賞での歴史の蓄積の活用を検討してほしい。自分史文学賞作品の中には、本市の歴史にとって重要な資料的な作品も多かった。そこには、八幡製鉄秘話、竹久夢二氏の八幡生活時代、戦後の荒廃時の庶民生活、28年災害の記録など、貴重な証言もある。そうした記録を正しく活用すべきである。	自分史文学賞受賞作で書籍化されたものや自主出版等でご寄贈いただいたものについては、館内に「自分史文学賞コーナー」を設け、来館者の方が閲覧できるよう公開しています。	2	1
53	沖縄の与儀公園にあるSLの物語もパネル等で紹介してほしい。	北九州から沖縄に蒸気機関車「D51」が贈られた顛末を記した「門司発沖縄行きD51列車発車」（山田 辰二郎氏作 第11回北九州市自分史文学賞佳作・北九州市特別賞受賞）の掲載誌を、「自分史文学賞コーナー」にて、来館者の方が閲覧できるよう公開しています。	2	1
54	自分史文学賞の作品である歴史の物語（国会議事堂建築物語、黒獅子旗物語）等々の副読本的なものを制作し、小学生等に配布するようにすると郷土愛的なものももてるのではないかと思われる。	自分史文学賞受賞作で書籍化されたものや自主出版等でご寄贈いただいたものについて、館内「自分史文学賞コーナー」にて、来館者の方が閲覧できるよう公開しています。また、小中学生を対象とした教育カリキュラムの作成やそれに対応した展示構成の充実については、文学館が市に受け継がれる豊かな文学的土壌を後世に伝える施設となるよう、今後、検討を進めます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
55	民間ベースで運営可能なコンサート等は民間会社に任せる。クラシック等においても著名音楽家によるコンサートは民間に任せる。	市民が主体となった文化芸術活動においては、市民がプレイヤーであり、鑑賞者（観客）であり、また、活動を支える存在でもあります。そして行政は、企業などとも連携しながら、市民が活動しやすいように、ハード・ソフト両面での環境づくりを行う役割を担っています。	2	1
56	美術館では、名作のレプリカなどに近づいたり、触ったりできる展示部屋があると気軽に芸術に触れることが出来て面白いと思う。	美術館ではこれまでも、例えば平成26年度のアートオブメモリー展など、五感で体感できる展覧会も企画してきました。また教育普及事業でもキャンドルづくりやモビールづくりなど美術・芸術に触れることができる事業も行ってきました。今後も芸術を身近に感じられる多様な事業を企画してまいります。	2	1
57	美術館分館では、もっと小さな子どもと一緒にいけるようなカジュアルな催しが増えると嬉しい。	美術館分館は、多くの市民が気軽に楽しめ親しめる多彩で魅力ある展覧会を実施することを基本としています。これまでも、例えば平成26年度にはウルトラマン展、平成27年度はムーミンの原作者であるトーベヤンソン展など新しい分野のアニメ展、絵本展など幅広いジャンルの様々な展覧会を開催するとともに、絵本の読み聞かせなどを開催し小さな子どもも参加しやすい工夫もしてまいりました。今後も、子どもも含め多くの市民が気軽に楽しめる多彩で魅力ある展覧会を開催していきたいと考えています。	2	1
58	杉田久女の顕彰をして欲しい。	市は火野葦平、松本清張、劉寒吉などの著名な作家を多数輩出しています。そして、女性俳句の草分けである杉田久女などが活躍した舞台でもあります。このように本市ゆかりの文化人のPR・顕彰を進め、「文学の街」を発信します。また、市内に点在する多くの文学的素材や、さまざまな文化資源・文化的取組みを有機的につなげることで、にぎわいの創出にもつなげていきます。	2	1
59	子どもが学校の授業で「子どもノンフィクション文学賞」用に作文を書いたことがある。子どもの考える力、書く力を伸ばすとても素晴らしい事業だと思う。もっと大々的にPRしてよいのではないか。	次代を担う子どもたちが事実を客観的に見つめ、思考し、言葉で表現する力を身につけることを目的として、「子どもノンフィクション文学賞」を実施しています。文化芸術の担い手の育成を支援するとともに、本市の豊かな文学的土壌を全国に発信するため、作品募集の呼びかけなどを、広く国内外に向け、PRいたします。	2	1
60	北九州はポップカルチャーやフィルム・コミッションなどに力を入れている。それらと文学をコラボさせ、映画やアニメなどとして発信することで広い世代に認知されると思う。	現在でも、映画と文学、映画と音楽など幅広いコラボレーションによる創造的な活動が活発に行われています。その活動が新たな付加価値の創出や地域社会の活性化との原動力となっています。今後も、引き続き、コラボレーションによる新たな魅力を引き出していきます。	2	1
61	「合唱の街・北九州」に興味を持った。中学生を対象とした合唱フェスティバルが開催されたが、小学生を対象としたものも聴いてみたい。市民センターなどでコーラスを楽しんでいる年長者とともに、年に一度、一堂に会して歌うようなイベントがあれば楽しい。	多くの合唱団体が活動する本市の特性を活かし、「合唱」を通じてさらに音楽文化の振興や元気な人づくり・まちづくりを進めていくため、「合唱の街・北九州」の推進に取り組んでいます。これまで、子どもたちとシニアを公募して結成された「グラン・ソレイユ合唱団」による公演などの取組みを行ってきました。今後ともいただいたご意見を参考にして、多くの方々が合唱に親しむような取組みを進めていきます。	2	1
62	素案の中に「デザイン」の語が見当たらないのが残念。文化が向上するということは、デザイナーの活躍の場も増えるということ。優れたデザイナーが育つ仕組みを構築させたい。	「デザイン」についても芸術の振興という視点から重要と考えており、例えば現代美術センター・CCA北九州において多様な視点からデザイン等の研究を進めていきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
63	芸術劇場などで演劇観覧後、関連分野の展示を美術館分館でやってみてはどうか。演劇観覧前後に違った楽しみ方ができるのではないかと。	ご意見のように、イベントや施設が連携しながら、市民の皆様がさまざまなジャンルの文化芸術に触れる機会を拡大することは、文化芸術の振興を進めるうえで、大切な視点だと考えています。これまでも、ポップカルチャーフェスティバルと漫画ミュージアムで関連する企画展の開催、松永文庫と映画館の連携など、イベントや施設間の連携に取り組んでいます。また、5月18日の「国際博物館の日」にちなんで、各文化施設が連携し実施しているミュージアムウィーク（市内の文化芸術施設等が連携し、スタンプラリー等を活用しながらPRを行う。）も、その取組みの一環です。今後も市民の皆様が、ジャンルを超えた文化芸術に触れる動機づけとなるような取組みを進めていきます。	2	1
64	(3) 合唱の街など音楽文化の振興について。北九州ソレイユホールのパイプオルガンは西日本最大級のもの。高価で貴重なパイプオルガンがきちんと使用されてない。第一人者の引き手を呼んで、ぜひコンサートを開催してほしい。	北九州ソレイユホールのパイプオルガンは、設立時、市民・企業・自治体が一体となって取り組んだ募金活動により2億円をかけて設置された、西日本最大級のもので、パイプオルガンの活用については、毎年オルガン奏者を招いてコンサートを開催するとともに、市民にパイプオルガンに触れてもらう「パイプオルガン体験教室」を実施しています。今後とも、音楽文化のさらなる振興に向けて、引き続き、パイプオルガンを活用したコンサートの開催や市民活動の支援に努めていきます。	2	1
65	地元の音楽家の積極的な活用を望む。	本市を拠点に活動する地元の音楽家は、まさに本市の音楽文化を支えている存在であり、本計画においても世界的に評価されるアーティストのみでなく、地元のアーティストとともに音楽の魅力を充実していくこととしています。音楽文化の更なる振興に向けて、今後とも発表の場の提供やアウトリーチ活動等における活用などの支援に努めていきます。	2	1
66	市民および行政は、地元の音楽家を育てていただきたい。		2	1
67	わざわざ、響ホールに音楽を聞きに行くのは敷居が高く遠慮する。もっと気軽にクラシックにふれるきっかけが欲しい。例えば、買い物先や駅に出前コンサートはいかがか。何かのついでに、主婦が音楽に触れる機会をたくさんつくって欲しい。	クラシックコンサートに親しみやすさを感じてもらい、クラシックに触れる機会を増やしていくため、0歳から親子で入場できる「キッズのためのはじめての音楽会」やクラシック音楽の楽しみ方、聴き方を優しくレクチャーする「はじめてのクラシック」等の取組みを実施しています。また、気軽に短時間で参加できる「ワンコインコンサート」も市内ホールで実施しています。今後とも、いただいたご意見を参考に、誰もが参加しやすいクラシックコンサートの実施に努めていきます。	2	1
68	ハイレベルなクラシックコンサートではなく、誰でも知っているようなクラシックコンサートをして欲しい。		2	1
69	ジュニア部門について例年夏休み期間を利用した芸術祭協賛ジュニア川柳の募集を行なっているが、参加校がまだまだ少ないのが現状である。教育委員会の方にもお願いしているが、もっと沢山の参加を願っている。		2	2
70	現在の潮流に敏感になる必要がある。それが大きいうねりだとしたら積極的に活かさない手はない。2013年より、毎日新聞社主催の万能川柳の大会が小倉で開催され、全国から著名な川柳作家及びファンが集っている。また、TOTOのトイレ川柳は、企業が募集する川柳の草分け的存在であり、社会に広く知れ渡っている。そこで北九州市が媒介となり「全国一の投句数を誇る万能川柳」「企業川柳の草分け的存在のトイレ川柳」の優秀作品を一堂に展示することができたら、強力な発信力があるのではないかと。	本市は、火野葦平、松本清張、杉田久女、林芙美子など多くの著名な作家、俳人などにゆかりのある文学の街であり、その種類も小説、俳句など多岐にわたっています。ご意見の川柳は、音やリズムを踏んだ短い言葉とユーモアを兼ね備えた文学・文芸であり、全国には多くのファンがいます。本計画の施策3の「2文学の街の施策の推進」では、本市の豊かな文学的素養を生かし、川柳を含むさまざまな種類の文学の振興に努めていきたいと考えています。	2	2

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
71	俳句と同じように、川柳も全国大会等の催しをして下さるとありがたい。	本市は、火野葦平、松本清張、杉田久女、林芙美子など多くの著名な作家、俳人などにゆかりのある文学の街であり、その種類も小説、俳句など多岐にわたっています。ご意見の川柳は、音やリズムを踏んだ短い言葉とユーモアを兼ね備えた文学・文芸であり、全国には多くのファンがいます。本計画の施策3の「2文学の街の施策の推進」では、本市の豊かな文学的素養を生かし、川柳を含むさまざまな種類の文学の振興に努めていきたいと考えています。	2	2
72	川柳文化の定着をインターネット等で市民から毎月募集する。例えば、インターネット投票で「今月の川柳」を選定するなど。		2	2
73	私は川柳が好きで新聞の川柳欄を楽しみにしている。小倉駅前の京町商店街の通りにかかっている川柳もみんなの目を楽しませてくれ、商店街の活性化にも一役買っているようだ。文化都市を目指す北九州市も川柳の活動を応援してほしいと思う。		2	2
74	北九州市に於ける川柳の魁とも言える上野十七八の句碑が高炉台公園にあり、例年5月に句碑まつり川柳大会を開催しているが、市の後援を市の共催にして市のイベントの一つにしたい。		2	2
75	現代の暗い世相を改善するための文芸として川柳を活用したい。短歌、俳句に比べて直接的に訴える力を川柳は持っている。例えば、市の各部門がテーマを設け市民に川柳募集を行なうことは、多くの市民参加を呼び、その効果は大きいと思う。		2	2
76	北九州市を「川柳の街」として国内外に広めて欲しい。（例えば、四国の松山市が俳句の街として有名になったように）		2	2
77	川柳でもっと北九州を盛り上げて欲しい。		2	2
78	全国を旅行したときに、俳句の投句函はあるが、川柳のそれは目にしたことがない。歳時記も要らず、気楽につくれる川柳を北九州の名物にしたらどうか。		2	2
79	万能川柳北九州大会に参加した。川柳を北九州市の活性化に活かしたらどうか。		2	2
80	毎年、万能川柳大会が開かれており全国から多数の人が訪れる。市内においても、川柳教室が開かれていて、川柳の活動は盛んである。市民全体が笑顔で幸せになれるよう、文化振興計画の中に川柳文化を取り入れて欲しい。		2	2
81	京町銀天街を歩くと、アーケードの両端から川柳が目に入る。新聞の川柳コーナーでも「北九州」という文字をよく見かける。文化振興計画に取り上げていただきたい。		2	2
82	「文化芸術」の項で川柳についての記述が一言もないのは、とても寂しい。「中畑流万能川柳」に掲載される北九州市の方々の多さをご存じか。「北九州市だ！」と遠方の兄弟も故郷を懐かしんで読んでくれている。これこそ、シビックプライドだ。		2	2
83	具体的な取組みとして「川柳による豊かなまちづくり」を提案する。「短い言葉で自分の気持ちを伝える」ことは、川柳だけでなく、円滑なコミュニケーションをつくるうえで重要なこと。子どもたちも含め、市民により浸透し、川柳をとおして気持ちの整理をしたり、思いを表現することが日常の風景になれば、もっと楽しい街になると思う。		2	2
84	川柳で街を活性化したい。		2	2
85	京町銀天街の川柳を読むことが楽しみである。		2	2
86	北九州市は川柳人口が多い街。川柳を市のシンボリックな文化活動として推奨していくのはいかがか。「市」のタイトルがつく大賞の設定をすると、年齢を超えて市民の参画が狙えると思う。		2	2

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
87	北九州が川柳の街になるように会社やアーケード内のお店などで募集したり、大会を開催するなどして盛り上げて欲しい。	本市は、火野葦平、松本清張、杉田久女、林芙美子など多くの著名な作家、俳人などにゆかりのある文学の街であり、その種類も小説、俳句など多岐にわたっています。ご意見の川柳は、音やリズムを踏んだ短い言葉とユーモアを兼ね備えた文学・文芸であり、全国には多くのファンがいます。本計画の施策3の「2文学の街の施策の推進」では、本市の豊かな文学的素養を生かし、川柳を含むさまざまな種類の文学の振興に努めていきたいと考えています。	2	2
88	京町銀天街では、季節ごとに川柳を飾っている。全国の商店街の取組みとしても異例の大成功だと聞いている。お金をかけずに集客できるのが川柳である。		2	2
89	北九州市主催の全国規模の川柳大会を文学館で開催できないか。		2	2
90	街中に川柳や俳句が溢れている街にする。石碑や掲示板など。		2	2
91	小中高で川柳を募集する。		2	2
92	世間では「サラリーマン川柳」「ペケボン」「TOTO川柳」「毎日新聞」などで川柳が大きく取り上げられている。川柳は、市民に身近で、癒しのツールとなるので、大きく取り扱って欲しい。		2	2
93	以前、市政だよりも川柳コーナーがあり、若い人達もよく読んでいたようだが、いつの間になくなって寂しい。又、復活してもらいたい。	「市政だより」は市の重要な施策や事業、市民生活に身近な情報などを伝えることにより、市民の市政に対する理解と市民参画を推進することを目的に発行しています。いただいたご意見については、今後の市政だより編集において参考とさせていただきます。	2	2
94	市政だよりの川柳コーナーの設置		2	2
95	川柳活動を行っている団体への補助、協力、協賛。	市民の行う文化芸術活動に対し、今後も必要に応じて助成を続けていきますが、事業の公共性や目的によっては助成に頼らない自立した事業として行われることも考えられます。補助金等のあり方については、有効に活用できるように「選択と集中」の観点を十分に考慮して進めていきます。どうぞご理解ください。	2	3
96	合唱組曲「北九州」の演奏のあり方について。管弦楽はほとんど九響に任せているが、北九州交響楽団やジュニアオーケストラ、響室内合奏団など地産地消がよいのではないか。	市制50周年の合唱組曲「北九州」の公演では、北九州交響楽団を中心とした市民オーケストラの皆様にご出演いただきました。いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。	2	3
97	高価なパイプオルガンについて調律はしているのか。	総合調律を年1回行なうとともに、リード管の調律・オルガン部分の検査を必要に応じて実施しています。また、日常的な保守管理の一環として、弾きこみを月に複数回行なうなど適切に管理しています。今後も、引き続き、市民の財産として大切に活用してまいります。	2	3
98	戸畑区出身劇作家 加藤道夫氏の顕彰のご検討をお願いしたい。	本計画の中でも、本市ゆかりの文化人のPR・顕彰を進めていくこととしております。ご意見は、今後、事業を実施していく上での参考にさせていただきます。	2	3
99	定期的に俳句を募集し、優れた作品を発表するしくみが欲しい。（俳句ポスト設置→毎月集約して審査→今月の優秀句の発表）	現在でも文学館において、文学講座や俳句、小説の入門講座を開講して、文学活動の普及に努めています。ご意見は、今後、事業を実施していく上での参考にさせていただきます。	2	3

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
100	俳句の普及に努める運動（俳句のルネッサンス運動）を始めて欲しい。	現在でも文学館において、文学講座や俳句、小説の入門講座を開講して、文学活動の普及に努めています。ご意見は、今後、事業を実施していく上での参考にさせていただきます。	2	3
101	北九州市芸術文化振興財団のあり方について苦言を呈したい。北九州市の芸術文化の中核を担う財団は、演奏活動にしろ、アウトリーチにしろ、なぜ地元の音楽家達をもっと積極的に活用しないか。外から呼ぶ音楽家はすべて優秀な音楽家であると勘違いされているのではないか。今の状態が続く限り地元の音楽家たちは育たない。これは市にとって大きな損失となる。	本市を拠点に活動する地元の音楽家は、まさに本市の音楽文化を支えている存在であり、本計画においても世界的に評価されるアーティストのみでなく、地元のアーティストとともに音楽の魅力を充実していくこととしています。音楽文化の更なる振興に向けて、今後とも発表の場の提供やアウトリーチ活動等における活用などの支援に努めていきます。	2	3
102	先般、逝去した佐木隆三氏の顕彰事業の検討をお願いしたい。資料収集は早い段階から取り掛からないと散逸する恐れがあるため。	故・佐木隆三氏関連の資料は、現在、文学館で864点所蔵しています。今後、資料収集や顕彰事業等に関して検討を進めます。	2	3
103	佐伯泰英氏をもっと活用できないか。	本市の豊かな文芸風土は現在も引き継がれ、高橋睦郎、村田喜代子、平出隆、平野啓一郎、葉室麟など、多彩な分野で北九州ゆかりの文学者が活躍しています。佐伯泰英氏からも、今年度開催した特別企画展「ブンガク最前線-北九州発」に展示資料のご提供などをいただいています。今後も、現役作家に関する文芸資料の収集、保存、調査、研究にも努め、広く情報発信を行います。	2	3
104	北九州市内で独自の美術コンペを企画する。ビエンナーレなど、継続性があり、ある程度権威のあるレベル。	美術館では、1978年より「北九州絵画ビエンナーレ」、1990年より「北九州ビエンナーレ」を開催し、2年に一度の大規模な絵画コンペや招待展を続けてきた歴史があります。現在は一定の役目を終え休止していますが、今後も時代のニーズに合った方法を模索していきたいと考えています。	2	3
105	優れたアーティスト、将来が期待できるアーティストを発掘する方法を具体化し、リストを作成。市内の企業や病院、公共施設などに紹介、作品を展示、購入していただくような仕組みができるとうい。	美術館では、国内外の優れたアーティストの活動を調査研究するとともに、広く市民に紹介する展覧会の開催がその役割と考えています。	2	3
106	CCAはごく一部の市民にしかメリットがない。門司港美術工芸研究所に一本化し、もっと開かれた機関に充実させることが必要か。	現代美術センター・CCA北九州は、平成27年9月、若松区の学術研究都市に移転したことを契機に、大学・企業との連携を進めるとともに、これまでの成果をより広く市民に還元するための方策も検討していきます。	3	1
107	P23 ③偉人、先人の顕彰 火野葦平、松本清張、劉寒吉のところに岩下俊作を入れる。	岩下は本市出身の作家であり、高校在学時から同人誌活動を行っていました。初の小説「富島松五郎伝」は後に「無法松の一生」として映画化され、ヒットしたのは周知の事実です。ご意見を踏まえ、本計画中の文学者の中に加筆します。	3	2

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果	
施策4 文化芸術の担い手の育成に関するもの					
108	子どものうちから文化芸術にふれあう機会をより一層提供して欲しい。	将来の文化芸術を担う子どもの豊かな心や感性・創造性を育むため、子どもたちが文化芸術にふれる機会を充実させることは重要と考えており、計画の中でアウトリーチ活動等の充実について記載しています。今後は、プログラム内容の入念な検討や対象ジャンルの拡大等、さらに充実した機会の提供に努めていきます。	1	1	
109	子どもの頃から、学校や身近な場所で文化芸術に触れることは、情操教育の面でも重要なことだと思う。芸術家になるかどうかは別として、将来の北九州市を担う心豊かな人材の育成に大きな影響を与える。		1	1	
110	「若者や子どもたちを対象とする芸術との出会いの場やワークショップの充実」はとても有意義だと思う。		1	1	
111	現在のアウトリーチ事業などは評価している。		1	1	
112	アウトリーチの対象分野を出来る限り、広げて欲しい。		2	1	
113	小学生の頃から、よい美術や音楽に触れる機会をたくさんつくって欲しい。		2	1	
114	子どもが文化に親しむきっかけとなるアウトリーチ事業をもっと充実してほしい。		2	1	
115	古典芸能の伝承とPRを目的とした小・中学校への「出前公演」の定例化して欲しい。		2	1	
116	未来を担う若い世代に、本物の文化芸術に触れ合う機会を増やして欲しい。全国や世界で活躍している本市出身の芸術家が、市内の小・中学校で子どもたちと交流するアウトリーチ事業を広げて欲しい。		2	1	
117	アウトリーチは音楽、演劇が対象か。美術、デザイン、工芸、建築、漫画等、文化的なことは分野を問わず柔軟に考えることがよい。		2	1	
118	ボランティアの育成は、各文化施設との連携が謳われている。響ホールを含めた主催事業の受付・案内等にもボランティアを育成するプログラムも含め、学生、一般社会人は勿論、第二の人生に入っていく方々も取り込んで、生きる喜びとしてつないで欲しい。		文化施設がボランティア制度を導入することは、施設の実践がより多彩で魅力的になるだけでなく、ボランティア自身の文化芸術への興味や関心の向上につながります。さらには文化芸術活動のすそ野を広げる効果が期待できます。今後も、引き続き、育成・充実に努めてまいります。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
119	P29 ボランティアの育成。 文学館ボランティアの育成が必要。	本計画では、ボランティア制度の導入により、施設の取組みがより多彩で魅力的になるだけでなく、ボランティア自身の興味や関心の向上につながることを目指しています。今後もボランティア制度の充実を図るとともに、その育成のための支援を継続していきます。	2	1
120	文学施設案内するボランティア育成が必要。		2	1
121	演奏する場を通してアウトリーチ・ワークショップ・コーディネートなど多様に経験する事により、将来は音楽文化を担う人材に成長すると思われる。	本市を拠点に活動する地元の音楽家は、まさに本市の音楽文化を支えている存在であり、本計画においても世界的に評価されるアーティストのみでなく、地元のアーティストとともに音楽の魅力を充実していくこととしています。音楽文化の更なる振興に向けて、今後とも発表の場の提供やアウトリーチ活動等における活用などの支援に努めていきます。	2	1
122	市政だよりでワークショップ等のイベントなどを見つけても対象が小学生以上ということが多く、4才の子を持つ親として残念である。未就学児でも参加できるようなものが、たくさんあれば嬉しい。場所も規模の小さいものなら図書館や市民センターなど身近な場所であると参加までのハードルが下がる。	ワークショップ等の内容や目的に応じて対象者の年齢等に一定の制限を設ける場合がありますが、いただいたご意見を参考に、より多くの方が参加していただけるよう、今後の事業実施において検討していきます。	2	1
123	夏休みに実施している子ども文化パスポートを使うと、親子で文化施設に行く機会が増える。このような取り組みを他の時期にも実施して欲しい。子どもの頃から文化に触れる機会が増えれば、子どもの成長にもよい影響を与える。	将来の文化芸術を担う子どもの豊かな心や感性・創造性を育むため、子どもたちが身近に伝統文化や文化芸術にふれる機会を充実させます。今後は、美術や大学などジャンルを広げることや、シニア層を取り込むなど、その対象を広げていきます。さらに、インリーチとしてホール等で行う体験型ワークショップや、子どもたちを対象とした鑑賞プログラムも充実し、臨場感あふれる舞台体験等の機会を提供することで、アーティストらの雰囲気を感じてもらえるような取組みを推進します。	2	1
124	古典芸能による普及やその文化を活用した積極的な国際文化交流の推進。	国内外から来訪者を迎え入れ、本市の歴史、文化に触れ、味わっていただくために、北九州ならではのおもてなしを実践します。小倉城周辺の魅力を向上し、和の文化の発信、北九州の伝統の継承、交流など、来訪者が、また来てみたいと思うような動機づくりを行っていきます。	2	1
125	市民参加型の企画を積極的に行ってほしい。例えば、漫画ミュージアムの、漫画教室や芸術劇場で実施している演劇のワークショップのようなもの。	美術館や自然史・歴史博物館などの各文化施設では、講座や教室など市民参加型の企画を実施しています。引き続きこのような、市民が文化芸術を体験し、興味を持っていただくための取組みを進めていきます。	2	1
126	「戦略2」に「次代の担い手を育て」とあるが、小学生から中学、高校と上がるにつれ、興味を持つ子どもが少なくなってしまう。生活環境が家庭によってさまざまであり、分野によっては経済的な部分も影響し、継続することが難しいところもあるのではないかと。	将来の文化芸術を担う子どもの豊かな心や感性・創造性を育むため、子どもたちが身近に伝統文化や文化芸術にふれる機会を充実させます。今後は、美術や大学などジャンルを広げることや、シニア層を取り込むなど、その対象を広げていきます。また、教育委員会はもとより、文化団体等とも連携しながら進めていきます。	2	1
127	子どもたちへの伝統文化の伝承について、小学生の授業の中に組み込んで、文化に関心を持たせることはいかがか。教師への文化の関心と意識づけになると思う。		2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
128	より気軽に文化芸術を知ってもらうためのイベントや、各芸術文化団体等による学校訪問、市民センターでのイベントなどで子どもたちにも様々な文化芸術をして欲しい。	将来の文化芸術を担う子どもの豊かな心や感性・創造性を育むため、子どもたちが身近に伝統文化や文化芸術にふれる機会を充実させます。今後は、美術や大学などジャンルを広げることや、シニア層を取り込むなど、その対象を広げていきます。また、教育委員会はもとより、文化団体等とも連携しながら進めていきます。	2	1
129	現在活動している文化連盟の各団体が、何部門か合同でもよいので、地域の児童・生徒を対象に、体験実習のようなものを開催してみたいか。発表会を観てもらうだけでなく、なかなか触れることの出来ない楽器や道具などに親子で触れてもらう機会になる。高齢化が進む北九州市の今後、少しでも文化芸術がひろがっていくのではないかと。	文化芸術の振興は、文化施設はもとより、市民が文化芸術活動に利用する施設とも連携しながら進めていきます。また、教育委員会ともしっかり連携します。	2	1
130	小・中学校、保育園・幼稚園、高等学校等が文化振興の拠点のひとつであることを忘れていないか。	文化芸術の振興は、文化施設はもとより、市民が文化芸術活動に利用する施設とも連携しながら進めていきます。また、教育委員会ともしっかり連携します。	2	1
131	施策4「文化芸術の担い手の育成」に関し、梅田彩佳などAKB48関係者やダンスなどの経験者など多く存在するので、そういう人材（財）をきちんと雇用することを検討したらどうか。経験者ほど強いものはない。	これからの地域文化の振興を担う人材（市民、劇場、文化施設等のスタッフ、教育者、地域のアーティスト等）の育成や人的ネットワークの形成に引き続き取り組みます。	2	1
132	文化芸術の街というイメージを定着させるには、まず大人が文学や芸術に興味を持つことが大切だと考える。子どもは親に影響を受け、趣味や好みが変わるということに耳にする。大人を対象を絞って、文芸活動を広める活動をして好きになってもらえば、大人から影響を受けた子どもが成長し、次の世代へ引きついでいこうという連鎖ができるのではないかと。	文化芸術に触れ、体験し、楽しむことは、子どもから高齢者、障害者、外国人など、世代や国籍にかかわらず、誰もが等しく享受できるものです。希望する人が気軽に文化芸術活動に参加できるよう、その機会の拡大に努めていきます。また、子どもたちなどが優れた文化芸術に触れる機会をつくるアウトリーチ事業にも取り組み、担い手の育成にも努めます。	2	1
133	アウトリーチを企画、実行するためにコーディネーターが必要。	文化芸術の担い手の育成は、作り手だけでなく、つなぎ手あるいはコーディネーターも文化芸術の専門家を目指す人材の育成に含まれます。それらを育成する上で必要となる、長期研修などの育成プログラムの研究にも取り組んでいきます。また、高校・大学や専門学校をつなぐ取組みなどの検討を進めていきます。	2	1
134	素案の中の用語で「アウトリーチ・インリーチ」とありましたが、あまり馴染みがなく解りにくさを感じた。	ご意見を踏まえ、分かりにくい用語には説明を記載します。	3	1
施策5 地域における伝統文化の発掘・継承に関するもの				
135	旧本事務所だけでなく、河内貯水池など歴史的価値のある施設の把握に努めていただきたい。	ご意見をいただいた河内貯水池など、市内には世界遺産登録施設以外の産業遺産も数多く存在しています。そのため、現在、関係部署が連携してそうした産業遺産の把握、活用について研究しているところです。	2	1
136	小倉祇園太鼓が、国の重要文化財に指定されるよう、行政も協力して欲しいと思う。	平成28年1月に開催された国の文化審議会で、小倉祇園太鼓を「記録作成等の措置を構すべき無形の民俗文化財」に選択され、本市の貴重な伝統文化の価値が認められました。今後、小倉祇園太鼓については、歴史的変遷や太鼓芸能について研究を進めます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
137	新日鉄資料室には、大正時代から現在に至るまでの貴重な資料が保管されている。八幡・戸畑の街並みの写真、さらには、構内誌「くろがね」に掲載されている情報、八幡製鉄創業時の公式文書等々、本市の歴史を顕彰する上で、大変貴重な資料が保存されている。そうした資料の活用、紹介を検討してもらいたい。	「市民の宝」である文化財を確実に将来へ伝えていくためには、市民が文化財の価値を正しく認識し、大切にすることを意識を高め、シビックプライドの醸成につなげていくことが必要です。ご意見をいただいた資料については、資料を所有している企業とも相談しながら、今後どのようなことができるのか研究してまいりたいと思います。	2	3
138	古典芸能の「能楽」（世界無形文化遺産）について、一言も無いのは如何なものか。西洋文化を語るのに、オペラを外せないのと同様に、日本文化を語るのに、能楽は絶対のはずである。	「能楽」の表現はありませんが、本計画においても日本が誇る古典芸能である「能楽」を含め、伝統文化の発掘・継承は非常に重要と考えています。地域文化の土台ともいべき伝統文化がしっかりと受け継がれていくよう、伝統文化についての情報把握や人材育成について施策5「地域における伝統文化の発掘・継承」の中で記載しています。	3	2
139	戸畑祇園のユネスコ無形文化財遺産への登録については、施策5ではなく、施策6の近代化遺産など文化財の保存・継承の項目で上げるべきものではないか。	施策5「地域における伝統文化の保存・継承」と施策6「近代化遺産などの文化財の保存・継承」は、地域に伝わる祭りや伝統文化、歴史的建造物や遺跡などの文化財の保存・継承にかかわる取組みを記載しています。計画の構成で、施策5は無形文化財、施策6は有形文化財にかかわる取組みを記載するよう整理しています。ご意見の「戸畑祇園のユネスコ無形文化遺産への登録」は、無形文化財の取組みであり、施策5に記載しています。	3	3
施策6 近代化遺産など文化財の保存・継承に関するもの				
140	世界文化遺産に登録された旧八幡製鐵所の内部見学がいつでもできるようにして欲しい。市外の観光客ががっかりしている。	世界遺産に登録された官営八幡製鐵所の資産は、いずれも現役で稼働中の製鐵所構内にあるため、安全面などの問題から内部に入っただけの見学は難しい状況にあります。そのため、昨年8月から土曜日を中心に、構内に入れるバスツアーを実施しています。また、登録資産の紹介映像や模型を作成し、一般来訪者へ公開するなど、今後も様々な方法で資産の魅力や価値を伝えるようにいたします。	2	1
141	文化庁には日本遺産登録という制度があり、北九州市も取り組んではどうか。	日本遺産への登録は、地域の伝統・文化を国内外に情報発信するだけでなく、インバウンドにもつながるなど、様々な効果が期待できる制度です。本市の歴史的な魅力や特色を効果的に発信するため、日本遺産登録を目指した取組みを進めていきたいと考えています。	2	2
142	城野遺跡について、その学術的価値に相応しい遺跡公園として、保存活用できないものか。歴史豊かな北九州市の未来のために、是非とも再考いただきたい。	城野遺跡については、大型の方形周溝墓や玉作り工房など、他に類例の少ない遺構が発見されたため、土地の所有者と現地保存のための協議を続けましたが整わず、最終的に移築保存を行うことになりました。現在、北九州市立埋蔵文化財センターにおいて、発見当時を再現した展示を行う方向で設計を進めております。現地保存では見ることができない本物の石棺を、間近で、出土遺物や解説とともに見ていただきたいと考えております。	2	3
143	城野遺跡について、我が国の歴史を科学的に解明していく貴重な遺跡が発見され喜ぶべきものだと思う。2000年前の遺跡を残す意義は、歴史的にも文化的にもそして未来にとっても大切なもの。現地で残して欲しい。		2	3
144	文化振興計画の中で、文化財について、その保存・活用を適切に行うためにきめ細かな施策が必要である旨記載している。城野遺跡は日本考古学学会や九州考古学会が認めて、学術上、重要な遺跡である。現地保存して、子どもたちに継承していくことが大切なのではないか。		2	3
145	文化や歴史を大切にすると記載しているが、どこの遺跡をどのように体験させ、学習させるのか、明確にされていない。世界的に貴重なといわれる城野遺跡は石棺を2つ展示するだけでは、その重要性を他都市に発信できない。青森の三内丸山遺跡は、今も現地で、外国の研究者も交えて研究がなされ、世界の人々が注目している。この貴重な遺跡で飛躍しない手はない。		2	3
146	小倉南区に貴重な遺跡があり、現在、国から個人もしくは企業に所有が移転しようとしている。市が買う気になり整備保存すればよいのではないか。		2	3

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
147	施策6(3)文化財の積極的な情報発信・活用について。市として、文化財公開施設の一番は、国指定文化財の西日本工業倶楽部ではないか。東田第1高炉、森鷗外旧居は市の指定文化財ではないか。	施策6「近代化遺産など文化財の保存・継承」では、歴史的建築物や遺跡など有形文化財を中心に、保存・継承し、活用する取り組みを記載しています。その内容には、ご意見にある国指定の文化財はもとより、県指定、市指定の文化財も含まれています。東田第1高炉跡や森鷗外旧居は、市所有の文化財公開施設であり、市がその活用等を特に検討する必要があるため、例示として取上げています。	3	1
148	本市の建築文化に光を当てることを提案する。本市には松本邸や門司港レトロ地区の外、若松などにも歴史的文化的に重要な建築遺産（世界遺産登録の官営八幡製鉄所本事務所）が散在し、また磯崎新氏の美術館、図書館、国際会議場、展示場もある。八幡市民会館を設計した村野藤吾氏の残したものも調べて市民に紹介することも重要だと思う。	ご意見の建築文化だけに限らず、本市の歴史や伝統文化、遺跡や建築物などの文化財を保存・継承し、活用することは、市民の郷土への理解や愛着心を高めるうえで、重要な取組みだと考えています。本計画では、施策5「地域における伝統文化の保存・継承」と施策6「近代化遺産などの文化財の保存・継承」で、本市の宝である有形・無形の文化財の保存・継承や活用、市民へのPRを積極的に進めることとしています。	3	3
施策7 文化芸術によるまちづくりに関するもの				
149	本市の中で行われている文化芸術活動の全体把握が必要である。文化芸術の中には、茶道・華道・舞踊・書道などあれば、大衆文化的な軽ミュージック、ハワイアン、絵画、刺繍等々がある。多くの方が参加し、本市の文化風土を支えている。	地域に根ざした文化芸術をさらに発展させるため、市の文化芸術を取り巻く環境や、創造する側、鑑賞する側、支援する側などを俯瞰的に見ながら、専門的な助言をするしくみとして、（仮称）アートディレクターを中心とした協議の場を設けることを検討します。そこでは、文化事業のフォローアップ、進捗状況の確認・評価、情報発信におけるコーディネート、また将来の文化芸術で推進するこの街の方向性について、市へ助言等を行ってもらうことを想定しています。	2	1
150	文化人の把握が必要である。指導者の中には全国的に評価が高いトップレベルの方もいるのではないかと。適正に把握し、本市の文化行政推進の協力を仰げば、その効果は大きいのではないかと。		2	1
151	2020年の東京オリンピックに向けて、それぞれの市町村が外国人観光客の増加のために、文化プログラムを実施するということを聞いている。北九州市も積極的に文化プログラムを実施に向けた検討を進めるべきだ。	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の文化プログラムの実施については、現在、国において検討が進んでおり、情報収集に努めていきます。また、2020年東京大会の文化プログラムは、本市の文化芸術施策が実を結ぶ中間地点であることから、それ以降も多様な文化芸術活動を継承、発展させることを考えながら、取組みの検討を進めていきます。	2	1
152	施策7「文化芸術によるまちづくり」について、有名人が来北した時、記録し紹介する拠点等を検討すべきである。	文化芸術によるまちづくりを進め、本市の魅力向上を図るためには、地域で活躍する人材を確保する必要があります。人材には、アーティストや文化芸術の専門家（プロデューサー、コーディネーター）、文化施設のスタッフ、教育者などが挙げられます。優れた人材を本市に呼び込むための人的ネットワークの形成に努めるとともに、本市で人材の育成を図る取り組みも進めていきます。	2	1
153	①施策7(4)「文化芸術で推進するこの街の方向性」では、市民と意見交換の機会が設けられるようにして欲しい。11月3日「文化の日」の開催を希望する。	本計画の改訂にあたっては、市民3,000人に対し「文化芸術に関する市民意識調査」を実施し、本市における文化芸術の現状や意識を把握しました。また、「文化芸術振興計画改訂検討会」では、専門家だけではなく、地域で文化芸術活動に携わっている方も加わり、多くの議論を重ねています。本市の文化芸術を支える主役は市民であり、これからも市民の皆様のご意見を踏まえながら、文化芸術の振興に努めていきたいと考えています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
主な拠点施設における取組みに関するもの				
154	文学館・清張記念館・漫画ミュージアムは活用できているのか。工夫が必要ではないか。	各文化施設では、それぞれの設置目的やテーマを踏まえ、展示物の充実を図るとともに、魅力ある企画展を開催し、多くの方が利用しています。あわせて、市民参加型の講座や教室を開催するなど、利用者が楽しむための工夫もしています。今後もこれらの取組みを充実するとともに、各施設が連携するなど幅を広げ、魅力向上に努めていきます。	2	1
155	現在休館中の美術館が、リニューアルオープンする際には、多くの集客が見込める、展覧会を企画・開催して欲しい。	現在美術館本館では、安定した温湿度管理を行うための改修や雨漏りの修繕工事を行っています。今回の工事が終われば、海外からの作品や重要文化財の展覧会が開催できる環境が整います。リニューアル後は多くの集客が見込まれる展覧会の開催を企画してまいります。	2	1
156	漫画ミュージアムのターゲットを広くしすぎるのではないか。企画展で狙っている客層わからない。	北九州市ゆかりの漫画家の協力によるオリジナル企画展を中心に、集客力のある人気の企画展も開催しています。また、夏休みは子供から大人までが楽しめる企画展とするなど、ターゲットも考慮して企画展の誘致を行っております。今後もより多くの市民の方に楽しんでいただける企画展を目指します。	2	1
157	漫画ミュージアムについて、狙っている客層とあるあるCITYの客層が一致していない。もっとあるあるCITYと漫画ミュージアムが共同運営を行い、客層を絞った方がよいのではないか。	昨年度の夏休みの企画展「はなかっぱの夏まつり2014」は、あるあるCityと共催し、協力してPRを戦略的に行うなど連携して集客に取り組みしました。今後も更なる連携強化に努め、それぞれの特色を生かしながら集客増に努めて参ります。	2	1
158	漫画ミュージアムについて、展示しているものはとても面白いのに、人が入らないのは立地に問題があるのではないか。ホテルの隣で閑散とした場所にあるので、サブカルチャー感があまりなく、コンセプトの統一が図られていないのではないか。	ポップカルチャーの複合施設「あるあるCity」の中にあり、JR小倉駅直結、徒歩2分のアクセスは当館のセールスポイントです。今後も来年3月の「北九州スタジアム」の完成も見据え、あるあるCityと協力してポップカルチャーの発信に努めます。	2	1
159	市民センターや公民館が文化振興の拠点のひとつであることを忘れていないか。	文化芸術の振興は、文化施設はもとより、市民が文化芸術活動に利用する施設とも連携しながら進めていきます。また、教育委員会ともしっかり連携します。	2	1
160	いのちのたび博物館は大人も子どもも楽しめる施設となっている。文学や芸術もこれにならい、各地に分散している図書館、文学館、美術館を鑑賞した後に、書籍を読めるような大きなひとつの施設にまとめてしまえば、気軽に文学に親しむことができるのではないか。	より一層の文化芸術の振興を図るためには、地域の枠を一步踏み出して、広域的な連携、連合を進めていくことが重要です。文化施設が連携し、情報共有や相互の情報発信を強化したり、時期や内容に関連性を持たせた展覧会を開催したりすることで、多様な文化芸術を鑑賞する機会を増やし、さらには人の回遊性も創出します。今後も、多彩な文化資源の連携を充実させていきます。	2	1
161	私は65歳以上の無料施設利用証を利用させてもらい、美術館などに行かせてもらっている。楽しみのひとつである。毎回、無料証提示で心苦しい。50円、100円でも徴収していただきたい。	現在、美術館では、本市が65歳以上の皆様に発行している「年長者施設利用証」をご提示していただいた方について「コレクション展」及び「企画展」の観覧料を無料としています。企画展については、平成28年4月より、受益者負担の観点から市内の他の文化施設と同様に2割減免に見直すことといたしました。ご理解とご協力をお願いいたします。	2	3
162	舞台芸術の拠点にレディスやはたの能楽台を是非入れていただきたい。当市には能楽堂が無いので、古典芸能の拠点として、能楽台を有するレディスやはたを加えて欲しい。	第三部の主な拠点施設における取組みについては、市の文化施設を中心として主なものを記載しています。古典芸能については、第二部の取組みの中で記載しました。	3	3

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み
または計画期間中に実施・検討予定
- 2 追加・修正あり
- 3 追加・修正なし
- 4 その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
その他				
163	市の施設の有料駐車場は値下げ予定はないか。利用者は「高い」と言っている。	市の公共施設の駐車場については、無料の所から一定の料金を徴収する所など、様々なケースがあります。ご意見は、今後、事業を実施していくうえで参考とさせていただきます。	4	4
164	〇〇生涯学習総合センター、〇〇生涯学習センター等名称が似ているし、長すぎてわかりづらい。愛称に変えて欲しい。例) 〇〇コミュニティセンター等	生涯学習総合センターには、平成16年3月に一般市民の公募により決定した「まいなび21」という愛称があり、通知文書、情報誌等で使用しています。今後も周知に努めたいと考えています。	4	4
165	市民センターの場所、道案内がわかりにくい。例) 中原市民センター	市民センターは、地域における活動の拠点であり、また、災害時の予定避難所などとして位置づけられているため、地域の方にとってわかりやすいよう、センターの設置場所に応じて案内表示を設置しています。案内表示がわかりにくい等のご要望があれば、個別に対応を検討いたします。	4	4
166	市民センター、生涯学習センターの利用申し込みをFAX、電話でも受け付けしてほしい。遠方まで公共交通機関を使っていくのはつらい。	市民センターでは、利用目的などを確認しながら受付を行うとともに、受付と同時に使用料をお支払いいただくため、窓口での使用申請をお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。	4	4
167	黒崎市民センターを講座で利用しているが、駐車場が狭く困っている。隣に民間の駐車場があるが、有料のため急ぎ以外は利用しない。隣の有料駐車場を格安契約できないか。	市街地に設置している市民センターでは、駐車場が十分に確保できないところがありますが、新たに駐車場を設けたり借り上げることは困難です。黒崎市民センターにある11台分の駐車場を利用される方で話し合いながら有効に活用していただくよう、ご理解とご協力をお願いします。	4	4
168	市民センターで、母親の講座が終了するまで、児童書を読んでいる子どもがいる。講座が終了すると、読書の途中で連れて帰られる。市民に無料で貸し出すことはできないか。	多くの市民センターでは、施設内に図書コーナーを設けて、図書館から配本し、市民の方が自由に閲覧や貸出ができる「ひまわり文庫」を設置しています。貸出方法については、ご利用の市民センターの職員にお尋ねください。なお、一部の市民センターでは、近くに図書館があるなどの理由で、「ひまわり文庫」を設置していない場合もありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	4	4
169	市民センター、生涯学習センターの部屋掃除は職員がしているのか。使用する人が掃除を行うものとするが、徹底されていない。座布団の破れたものも廃棄が必要ではないか。	市民センターの部屋の掃除は、清掃業者に委託して行っています。また、部屋を使用される方には使用後の片付けをお願いしていますので、後片付けが不十分な場合は、館長等にお知らせください。備品の破損等につきましても、館長等にお知らせください。	4	4
170	英語力の欠如。真の国際都市になるための英語力をあげる工夫が必要。	本市では学校においては、全ての生徒の英語力向上のため、 ①全市小・中学校にALTを配置 ②本市オリジナル教材「英語大好き音読暗唱BOOK Rainbow」の活用 に取り組み、生徒の英語学習への意欲を喚起するとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図っています。また、さらなる英語力向上のために、毎年10月にイングリッシュコンテストの開催し、中学生が自己の英語力、コミュニケーション力の向上やグローバル社会での活躍への意欲向上を目指しています。本市が設置する北九州市立大学では、文部科学省補助事業に採択されている「Kitakyushu Global Pioneers (KGP)」において、TOEIC800点以上の優れた語学力に加え、多様性を受入れる柔軟性や卓越したコミュニケーション能力を持ち、世界の舞台で活躍できる人材の輩出を目的とした、グローバル人材の育成に取り組んでいます。	4	4